

第20期	4歳児	I期（4月・5月）
発達の 主な特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進級を喜び、先生と一緒にいろいろな活動に取り組んでみようとする姿が見られる。中には担任や保育室などの環境が変わることで戸惑う園児もいる。</li> <li>・基本的な生活習慣は、個人差が見られる。先生と一緒に確認したり、友達の様子を見たりしながら身に付けていく。</li> <li>・気の合う友達と一緒に前年度によくしていた固定遊具や砂場、ごっこ遊びなどを楽しむ姿が見られる。</li> <li>・草花を遊びに取り入れたり、飼育物と触れ合ったり、虫取りを楽しんだりする姿が見られる。</li> <li>・友達との関わりは増えるが、自分の気持ちをうまく表現できず、トラブルになることもある。</li> </ul>	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい生活の仕方を知り、できることは自分でしようとする。</li> <li>○自分のしたい遊びを見付け、先生や友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。</li> <li>○春の自然に関心を持ち、動植物との触れ合いを楽しむ。</li> </ul>	
この 期に 身に 付け て ほ しい こ と	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園生活の約束を思い出したり、持ち物の片付け方を確認したりしながら、自分でできることは、自分でしようとする。</li> <li>・遊具の安全な使い方や遊び方を再確認する。</li> <li>・自分の好きな遊びや場を見付け、先生や友達と一緒に体を動かして遊ぶ。</li> </ul>
	人間 関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生や友達に親しみをもったり、一緒に遊ぶことを楽しんだりする。</li> <li>・気の合う友達と一緒に好きな遊びを楽しむ。</li> <li>・友達がしていることを見て同じことをしたり、同じものを使って遊んだりする。</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な遊具や用具の扱い方を知り、使って遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・園庭の草花や飼育物を見たり、触れたりして親しむ。</li> <li>・夏野菜や花の苗を栽培し、興味をもって世話をしたり、生長を楽しみにしたりする。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生や友達に親しみをもって挨拶や返事をしようとする。</li> <li>・先生の話の聞いたり、自分のしたいことや困ったことを伝えたりする。</li> <li>・クラスの友達と一緒に絵本や紙芝居を見たり、聞いたりして楽しむ。</li> </ul>
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生や友達と一緒に歌ったり、体を動かしたりして楽しむ。</li> <li>・身近な素材や用具を使って自分の好きなものを作ったり、つくったりする。</li> </ul>
環境構成 (☆)と 援助(○)の 工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆持ち物の片付けなどが自分でしやすいようにマークや名前をロッカーに分かりやすく付けておく。保育室は明るい雰囲気にし、安心して過ごせるようなコーナーの配置を工夫する。</li> <li>☆一人一人の園児がしたい遊びができるように、遊具や用具の数を十分に用意したり、表示を工夫したりする。</li> <li>☆園児が興味をもった虫や生き物などを調べられるように絵本や図鑑などを準備しておく。</li> <li>○先生に親しみを持ち、安心して過ごせるように温かい雰囲気づくりを心掛け、一人一人の園児</li> </ul>	

	<p>に丁寧に関わるようにする。</p> <p>○好きな遊びの場では、経験したことがある遊びを準備することで、安心して遊びを楽しむことができるようにしていく。</p> <p>○リズム遊びや簡単な集団遊びなどを積極的に取り入れ、友達や先生と楽しみながら関わりがもてるようにしていく。</p> <p>○自分の思いや考えを、自分なりに伝えようとする姿を十分に受け止める。自分の思いが言えない園児には、言葉の足りないところを先生が補いながら相手に思いを伝えられるようにする。</p> <p>○春の自然や動植物との関わりがもてるように草花を使って遊んだり、ダンゴムシやカエルなどの身近な生き物を先生や友達と一緒に捕まえたりする。</p>
行事	進級式・入園式・春の遠足・家庭訪問
家庭との連携	<p>○家庭訪問や降園時に園生活や幼児の様子を具体的に伝え、信頼関係を築いていく。</p> <p>○治療中の病気や食物アレルギーの有無、発育や発達の状況等を的確に把握し、保護者との連携を密にする。</p> <p>○新しい環境から体調を崩すこともあるので、健康状態に配慮してもらう。</p> <p>○家庭と園の緊急連絡方法を確認しておく。</p>

第21期	4歳児	Ⅱ期（6月・7月・8月）
発達の 主な特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に遊びたい気持ちが強くなり、友達を誘って一緒に遊び始めたり、友達と同じものを身に付けたり、動きを真似たりすることを楽しむ。しかし、その中で自分の思いを通そうとしたり、遊具の取り合いをしたりしてトラブルになったりする。</li> <li>・水遊びへの関心が高まり、自分から進んで水に触れて遊んでいる姿が見られる。中には、水に対して抵抗がある園児も見られる。</li> <li>・身近な出来事や楽しかったこと、気付いたことなどを先生に伝えたり、友達に話し掛けたりするようになる。</li> <li>・夏野菜や小動物などに興味をもち、先生に伝えたり、友達と教え合ったりする姿が見られる。友達と一緒に世話をしたり、観察したりする姿が見られる。</li> </ul>	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○園生活の流れが分かり、自分から進んで行動しようとする。</li> <li>○好きな遊びをしながら、先生や友達と触れ合って遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>○いろいろな水遊びを通して水に親しむ。</li> <li>○身近な夏の自然に触れ、親しみをもつ。</li> </ul>	
この 期に 身に 付けて ほし い こと	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水遊びやプール遊びを通して水に親しみ、解放感を味わい伸び伸びと遊ぶ。</li> <li>・水遊びやプール遊びの支度や着替えなど、自分のことは自分でしようとする。</li> <li>・手洗い、うがいや歯磨きなどを進んでしようとする。</li> <li>・夏の生活の仕方を知り、汗を拭いたり、水分補給をしたり、休憩したりして健康に過ごす。</li> </ul>
	人間 関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ場で遊んでいる友達の様子に興味をもって、関わって遊ぶ。</li> <li>・自分とは違う思いをもつ友達がいることに気付く。</li> <li>・友達と一緒に遊ぶ中で、きまりを守って遊ぼうとする。</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂や水や土の感触を十分楽しみながら、試したり工夫したりして遊ぶ。</li> <li>・虫や小動物に興味をもち、親しみをもって見たり、触れたりする。</li> <li>・夏野菜の生長の様子を見たり、水やりをしたりする。</li> <li>・夏の自然現象や不思議さなどに興味や関心をもつ。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いれて」「かして」「まって」「いいよ」「ありがとう」など生活や遊びに必要な言葉を使う。</li> <li>・経験したことや自分の思っていることを先生や友達に話す。</li> <li>・遊びの中で、自分の思いを伝えたり、友達の思いに気付いたりする。</li> <li>・身近なお話や絵本に親しむ。</li> </ul>
表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びに必要なものやイメージしたものをかいたりつくったりして遊ぶ。</li> <li>・みんなで一緒に歌ったり、リズム遊びをしたりする。</li> <li>・音楽に合わせて、楽器を使ったり、踊ったりする。</li> </ul>	
☆砂や水に思う存分触れて遊べるよう、いろいろな水遊びの環境を用意し、その感触をしっかり		

<p>環境構成 (☆)と 援助(○)の 工夫</p>	<p>味わうことができるようにする。また、裸足で安全に遊べるように環境を整えておく。</p> <p>☆戸外ではテントやパラソル、木陰など日陰の下に遊びの場を設定するとともに、温度や湿度に留意し、快適な環境を作る。</p> <p>☆生き物に関心をもち、いつでも見たり世話をしたりできるように目に付きやすい場所で飼育する。</p> <p>☆同じものを持ったり、身に付けたりして、友達と同じ動きや遊びができるように、遊具や用具、素材を身近に用意しておき、いつでも使えるようにしておく。</p> <p>○プール遊びは、安全に留意し、自分の体が守れるよう繰り返し話をして、意識をもたせるようにする。また一人一人の状態を把握し、興味やめあてに応じて援助していく。</p> <p>○友達と関わって遊ぶ楽しさや遊びの充実感が味わえるように、友達と関わりがもてるような言葉を掛けたり、一人一人の工夫を認めたり、周りの園児に知らせたりする。</p> <p>○いろいろな遊具や用具の使い方を知らせ、安全に使っているか見守るとともに、個別に手助けが必要な時には援助する。</p> <p>○小動物を身近に見たり触れたり世話したりする中で、園児の驚きや発見に共感するとともに、優しく扱うことや命の大切さなどにも気付かせるようにする。</p> <p>○遊びの中でお互いの思いを聞いたり、相手の思いを聞いて代弁したりすることで、相手の気持ちに気付けるようにし、友達との関わり方が分かるようにする。</p> <p>○季節の歌や園児の興味に合わせた曲などを用意し、園児と一緒に歌ったり、体を動かしたり、楽器を鳴らしながら表現する楽しさを共有していく。</p>
<p>行事</p>	<p>プール遊び・七夕まつり</p>
<p>家庭との 連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂遊びや水遊びが盛んになるので、十分な着替えを用意してもらおう。また暑さや疲れで熱中症など体調を崩しやすいので、家庭でもしっかり睡眠や食事など体調管理に気を付けてもらおう。</li> <li>・水遊びやプール遊びについて説明し、必要な物の準備をしたり、治療の必要がある幼児は治したりするようお願いする。</li> </ul>

第22期		4歳児	Ⅲ期（9月・10月）
発達の 主な特徴		<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の疲れから食欲が落ち、体調がよくない園児も見られる。</li> <li>・年長児の真似をして、色々な運動に積極的に取り組もうとしたり、自分の遊びに取り入れたりする姿が見られる。</li> <li>・遊びの中でトラブルが生じた時は、自分の気持ちを相手に伝えることもできるが、自分の思いをうまく表現できにくい園児もいる。</li> <li>・身近な秋の自然の変化に興味をもち、落ち葉や木の実を集めたり、様々な表現遊びに取り入れて遊んだりする。</li> </ul>	
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○戸外で体を十分動かして遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>○気の合う友達と関わりながら遊ぶことを楽しむ。</li> <li>○身近な秋の自然に親しみ、興味や関心をもつ。</li> </ul>	
この 期 に 身 に 付 け て ほ し い こ と	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外で体を十分に動かしたり、様々な道具や用具を使った運動遊びを楽しんだりする。</li> <li>・自分から身の回りを清潔にしたり、休息をとったり、水分補給をしたりする。</li> <li>・簡単なルールを守り、友達と一緒に楽しんで遊ぶ。</li> </ul>	
	人間 関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気の合う友達と誘い合って、好きな遊びを楽しむ。</li> <li>・行事に参加し、異年齢の友達や、地域の人たちと触れ合う。</li> </ul>	
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な自然の美しさや変化を感じ取り、秋の訪れに気付く。</li> <li>・虫捕りをしたり、飼育したりしながら生き物に関心をもつ。</li> <li>・木の実や木の葉を集めたり、遊びに取り入れたりする。</li> <li>・いろいろな運動遊具を使って、くり返し遊んでみようとする。</li> </ul>	
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達に自分の思ったことや感じたことを伝えようとする。</li> <li>・進んで絵本や物語に親しみ、興味をもって聞いたり、想像したりする。</li> </ul>	
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な素材を使い、遊びに必要なものを工夫して、かいたりつくったりする。</li> <li>・友達と一緒にリズムに合わせて体を動かしたり、歌ったりする。</li> </ul>	
環境構成 (☆)と 援助(○)の 工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆園庭の整備と遊具の点検を行い、安全に運動遊びができるようにする。</li> <li>☆運動遊びに自分から取り組めるようにボールなどの遊具を準備したり、場の確保をしたりする。</li> <li>☆見付けた虫や草花を観察したり、世話ができるように図鑑・飼育ケースなどを準備したりする。</li> <li>☆拾った木の実や木の葉を使って遊べるように材料を用意しておく。</li> <li>☆園外保育を取り入れ、楽しみながら秋の自然に触れられるようにする。また、自然に触れて遊べる場所や危険な場所の下見をしておく。</li> <li>○お茶を用意し、水分補給が十分にできるようにする。</li> </ul>		

	<p>○遊具や用具の正しい遊び方や使い方を再確認し、安全に使えるようにする。</p> <p>○思いがぶつかり合う時には、お互いの思いを汲み取りながら、相手の思いに気付ける言葉掛けをする。</p> <p>○先生も遊びと一緒に参加し、体をしっかり動かす遊びを楽しめるようにする。</p> <p>○草花や虫に触れ、園児が発見したり驚いたりしたことを大切に受け止め、共感する。</p> <p>○拾った木の実や種などを使って遊べるように材料を用意したり、遊び方を知らせたりする。</p> <p>○楽しんで歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりする楽しさが感じ取れるような遊びの場を提案したり、雰囲気作りをしたりする。</p>
行事	運動会・秋の遠足
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の疲れが出やすく、活動量も多くなるため、十分な睡眠や休息が必要なことを伝える。また、衣替えなど着替えの準備もお願いする。</li> <li>・寒暖の差が大きくなるので、体調の変化に気を付けてもらう。</li> <li>・運動会に向けて頑張りを伝え、温かく受け止めてもらえるようにする。</li> </ul>

第23期		4歳児	IV期（11月・12月）
発達の 主な特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの幅が広がり、友達と楽しむ姿が多くなっている。自分の思いを伝え、互いの話を聞きながら遊んでいるが主張がぶつかり合ってトラブルになることもある。トラブルになった時、自分の思いを最後まで伝えらず先生の援助を求める園児もいる。</li> <li>・いろいろなことを自分なりに行おうとする意欲が高まり、遊びの持続時間が長くなる。</li> <li>・用具や遊具に慣れ、それらを使ったり、自分なりに遊びを考えたり身近な材料で作ったりすることを喜ぶ。</li> <li>・友達や年長児、先生をしている遊びなどに興味をもち、いろいろな遊びに積極的に関わろうとする。</li> </ul>		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の思いを出しながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。</li> <li>○友達と一緒にいろいろな遊びをする中で、イメージや言葉を豊かにする。</li> <li>○季節の変化を感じながら、身近な自然と関わって遊ぶ楽しさを味わう。</li> </ul>		
この 期に 身に 付け て ほ しい こと	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の調節や手洗い、うがいの大切さを知り、気温差や活動・体調に応じた生活の仕方を身に付け、自分でしようとする。</li> <li>・ルールのある遊びを通し、みんなで遊ぶ楽しさを味わう。</li> </ul>	
	人間 関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具や用具を大切にし、みんなで使ったり片付けたりして、友達と譲り合う気持ちをもつ。</li> <li>・年長児の遊びに興味や関心をもち、遊びに取り入れる。</li> <li>・友達との関わりの中で、相手の思いや考えに気付く。</li> </ul>	
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の変化に気付き、葉っぱの色の移り変わりや枯れ葉の感触などに興味、関心をもち、</li> <li>・落ち葉やどんぐりなどの自然物を集めて、形や色、数、量などに興味や関心をもち、</li> <li>・栽培物に興味をもち、生長の様子を見たり、世話をしたりする。</li> </ul>	
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活経験を遊びの中に取り入れ、言葉のやり取りを楽しむ。</li> <li>・自分の思いを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりしながら遊ぶ。</li> <li>・先生や友達の話を親しみをもって聞き、思ったことや感じたことを話す。</li> <li>・絵本や物語などに親しみ、興味をもって見たり聞いたりして、イメージを膨らませる。</li> </ul>	
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごっこ遊び等で友達と一緒に役になりきって遊ぶ。</li> <li>・いろいろな歌をみんなで歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたり、楽器を鳴らしたりすることを楽しむ。</li> <li>・自分たちで遊びの場や遊びに必要なものを作ったりしながら、イメージを膨らませて遊ぶ。</li> <li>・木の実や落ち葉などを素材にして、製作を楽しむ。</li> </ul>	
環境構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆園児が互いの遊びに興味・関心をもち、関わり合えるように、コーナーの広さや場の設定に配慮する。</li> <li>☆散歩で集めてきた自然物は種類別に分けて容器に入れたり、名前を付けたりにして選んで使える</li> </ul>		

<p>(☆) と 援助 (○) の 工夫</p>	<p>ようにする。</p> <p>☆様々な用具や素材を園児の目に触れる場所に置いたり、要求に応じて出したりして自分で扱えるようにする。</p> <p>☆栽培物は、生長に関心をもてるように、幼児の目の付きやすい場所に置く。</p> <p>○友達関係の深まりや変化により、いろいろなトラブルが生じるが、育ちにつながるように、状況をしっかり捉え、仲立ちとなり、自分の気持ちを伝え合ったり、友達の気持ちや考えに気付いたりできるようにする。</p> <p>○集団遊びの楽しさが味わえるよう、先生も一緒になって遊びに加わり、みんなで遊ぶ楽しさや満足感を大切に、繰り返し挑戦しようとする気持ちを受け止め、必要に応じて援助する。</p> <p>○秋から冬に変わる自然の変化に触れる機会をもち、園児の発見や驚きに共感したり、周りの友達に知らせたりしながら、興味や関心をもてるようにする。</p> <p>○発表会に向けてクラスの友達と一緒に役割分担をしたり、なりきって遊んだりする楽しさが共有し合えるようにする。</p> <p>○一人一人の表現したい気持ちを受け止め、自分の力を十分に発揮できるように励ましたり、イメージが膨らむような言葉掛けをし、頑張りを認めながら達成感を味わったりすることができるようにする。</p> <p>○季節の歌や園児の興味に合わせた曲などを用意し、一緒に歌ったり、体を動かしたり、楽器を鳴らしたりしながら表現する楽しさを共有していく。</p>
<p>行 事</p>	<p>・生活発表会・クリスマス会</p>
<p>家庭との 連携</p>	<p>・発表会に向けての取り組みの中で頑張る姿を伝え、保護者と一緒に成長を喜ぶようにする。</p> <p>・薄着・手洗い・うがいの励行・外遊びなど、健康な生活習慣が身に付けられるように、家庭にも依頼する。</p>



第24期		4歳児	V期（1月・2月・3月）
発達 主な特徴		<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達との関わりが深くなり、誘い合って遊びを進めていこうとする姿が見られる。また、遊びの中で自分なりの思いや考えを伝えたり、友達の考えも受け入れたりするようになる。</li> <li>・遊びに必要なルールを自分たちで考えながら遊ぶ姿が見られる。しかし、友達と考えが違って受け入れられなかったり、決めたことを守ることができなかったりなどのトラブルもある。</li> <li>・氷や霜、雪などの冬の自然現象に興味をもって関わったり、冬から春への季節の移り変わりに気付いたりする。</li> <li>・年長児のしている活動に入れてもらうことが増え、あこがれの気持ちが強くなったり、もうすぐ年長組になる期待感が膨らんだりする。</li> </ul>	
ねらい		<p>○友達と思いや考えを出し合いながら、活動することを楽しむ。</p> <p>○身近な冬の自然現象に触れる中で、様々な事象に関心をもつ。</p> <p>○年長組になる喜びや期待をもち、自分なりのめあてをもって生活する。</p>	
この 期に 身に 付け て ほ し い こ と	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗い、うがい、衣服の調節などの生活行動の必要性を感じ、自分からしようとする。</li> <li>・寒さに負けず、戸外で思いきり体を動かして遊ぶ。</li> <li>・縄跳びやマラソンなど、自分なりのめあてをもって取り組む。</li> </ul>	
	人間 関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と考えを出し合ったり、同じイメージや目的をもって遊びを進めたりする。</li> <li>・年長児の姿を見たり一緒に遊んだりする中で、あこがれの気持ちをもつ。</li> <li>・当番活動や係活動などを年長児から引き継ぐ中で、進級への期待や喜びを感じる。</li> </ul>	
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かるた、こま、すごろくなどの伝承遊びに関心をもち、喜んで取り組む。</li> <li>・遊びを通して数や文字に関心をもって遊ぶ。</li> <li>・氷や霜柱、雪などの冬の自然に触れ、感動したり疑問をもったり試したりする。</li> <li>・草花や木々の芽吹きの様子から、春の訪れを感じる。</li> </ul>	
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びや生活の中で、自分の気持ちを相手に伝えたり友達の思いも聞いて受け入れようとしたりする。</li> <li>・絵本や物語などに親しみ、興味をもって見たり聞いたりして、イメージを膨らませて遊ぶ。</li> </ul>	
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びに必要なものをかいたりつくったりして、それを使って遊ぶ。</li> <li>・友達とお互いの表現を認め合い、真似をしたり一緒につくったりして遊ぶ。</li> <li>・季節の歌や進級、お別れの歌など、友達と一緒に歌うことを楽しむ。</li> </ul>	
		<p>☆冬の健康管理に配慮し、室温・換気・湿度に十分留意して、快適な生活ができるようにする。</p> <p>また、インフルエンザ、嘔吐下痢等の感染症が流行する時期なので、一人一人の健康状態を十分把握し、早急に対応できるように保育室に消毒・処理用具を備えておく。</p> <p>☆自分なりのめあてがもちやすくなるような活動の方法を工夫したり、カードなどを使って継続して取り組んだりできるようにする。</p>	

<p>環境構成 (☆) と援助 (○) の工夫</p>	<p>☆年長児と関わりがもてる遊びの場や、係や当番活動の引継ぎの機会などを、計画的にもつようとしていく。</p> <p>○寒くても戸外でしっかり体を動かして遊ぶことを促し、先生も一緒に遊びに参加することで意欲的に取り組めるようにする。</p> <p>○グループや学級全体で行う遊びを多く取り入れ、みんなで力を合わせて遊ぶ満足感を味わえるように、話し合う場や内容の工夫をする。</p> <p>○友達とトラブルになった時に、互いの気持ちをしっかり伝え合えることができるように見守ったり先生が思いの橋渡しをしたりするようにし、友達の思いに気付いて行動できるように援助する。</p> <p>○年長児に憧れの気持ちをもてるような場面をしっかり捉え、一緒に活動することで自信や満足感を得られるような援助を心掛け、進級への期待を高めていく。</p> <p>○氷や霜柱、雪などの冬の自然現象や、木の芽吹きなどの春の訪れなど、機会を逃さず捉えて自然の不思議さや美しさに気付くことができるようにする。</p>
<p>行 事</p>	<p>豆まき・ひな祭り・卒業式</p>
<p>家庭との 連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季の健康管理に十分気を付けて生活することを伝え、園・家庭ともに体調に変化がある場合には早急に対応し、連絡を密にすることを確認する。</li> <li>・学級通信や降園時の保護者との会話の中で、行事での取り組みや進級に向けての一人一人の頑張りなどを伝え、一緒に成長を喜ぶようにする。</li> <li>・年末を迎える準備や正月遊びを通して、園児との触れ合いの時間を大切にしよう。</li> </ul>